道路整備をアウトカム指標で評価する『道路行政マネジメントシステム』

○「行政機関の行う政策の評価に関する法律(平成14年4月1日施行)」が施行され、政府全体として国民的視点に立った成果を重視した行政への転換を推進しています。

○「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2002(平成14年6月25日閣議決定)」において「計画策定の重点をその分野の特性を踏まえつつ、従来の「事業量」から計画によって達成することを目指す成果にすべき」とあることから、目標を立て、目標達成に向けた事業の実施を進めています。

○国土交通省においても、「平成１３年度 国土交通省政策評価年次報告書(平成14年6月公表)」において、政策評価制度の導入により成果主義の行政運営への転換を進めるべきであることを提示されており、より成果が表れるよう努めています。

○「社会資本整備審議会・中間答申(平成14年8月2日答申)」において「道路行政をアウトカム指標に基づき運営を行う方式に転換し、毎年度、指標に基づき業績の分析・評価を行い、その結果を予算編成等に適切に反映させるシステムを構築すべき」という提言を受け、指標を用いた成果のとりまとめを行っています。

道路行政マネジメントのイメージ

